令和3年度寒川町みんなの協働事業提案制度実績報告について

	協働事業名	提案団体名	事業協力課	事業概要	町の役割	参加者数	交付額（決算）
事業①	寒川町の花すいせんの植栽	日本一のすいせんの町にする会（スイセンズ）	都市計画課	目標は、寒川を日本一のすいせんの町にすること。協働により、すいせんを植栽することで、故郷意識（こころの育成）の向上に取り組んだ。さむかわ中央公園南西入口（街角広場）付近に柵を設置し、土づくりの後すいせん6000球を植栽した。多くの町民等が観賞し好評を得た。	植栽場所の事前相談及び提供、植栽後の協力（散水栓の使用許可、草の処理支援）、活動のＰＲ	延べ593人	500,000

寒川町みんなの協働事業提案制度評価結果報告書（令和３年度）	
協働事業名	①寒川町の花　すいせんの植栽
提案団体名	日本一のすいせんの町にする会（スイセンズ）
事業協力課	都市計画課
事業期間	令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで
事業実施内容 及びその成果	候補地の選定、柵設置、土づくり 植栽地管理、すいせん植栽（6000球） 開花３月下旬～４月上旬 町民の写真撮影等観賞者から多く好評を得た。
事業費 （補助金額）	５０４，４１３円 （５００，０００円）

◆事業評価シート	
準備段階	１．協働が開始された段階は □準備段階　■実施段階　□その他 ２．協働の呼びかけはどちらからか ■団体から　□町　□その他 ３．協働で行うことの意義は明確であったか ■はい　□いいえ 意義（町と地域住民の共同によるまちづくりの意義は明確に展開されている） ４．事業の目的は明確であったか ■はい　□いいえ 目的（寒川町自治基本条例（まちづくりの指針第３号及び第４号）に基づく目的は明確です） ５．事業目標（目標に対して何がどのようになるか）は明確であったか ■はい　□いいえ 目標（地域住民の協力や町の支援により、環境共生のまちづくり進展している） ６．町（事業協力課）との相互理解は十分だったか ■はい　□いいえ 理由（環境現地、調査立会等の協議、指示は適切な連携により執行された）

◆事業評価シート	
実施段階	７．事業実施上の役割分担は適切だったか ■はい　□いいえ 理由（町の役割、団体（スイセンズ）はそれぞれの役割をしっかり認識して分担した） ８．進捗状況や情報は共有できたか ■はい　□いいえ 理由（植栽現場が中央公園内という至近距離であり、進捗は常に現状（現地）を共有できた） ９．実施のプロセスで記録は残せたか ■はい　□いいえ 理由（地域住民の参加者数の記録、写真による現地の変化を記録している） １０．団体と町の互いの特性を活かすことができたか ■はい　□いいえ 理由（すいせんの植栽地（中央公園）の選定、確保等の共同が展開された）
終了後の段階	１１．目標・目的は達成できたか ■はい　□いいえ 理由（初期の目標・目的は達成した。多くの町民や町外の人にも好評を得ている） １２．今後の課題や改善策を話し合ったか ■はい　□いいえ 理由（植栽地の確定等、今後の取組みに意欲的である） １３．事業全体を見て、事業に対する満足度は (5)　４　３　２　１　【高い：５　低い：１】 理由（　　）
	１４．その他気づいた点など（自由記入） 令和５年度（２０２３年）は寒川町の花制定５０周年目であり、今後の継続的な町の取組みと支援を展開していただき、知名度をすいせんの町として県中央部に明示したい。

寒川町みんなの協働事業提案制度（令和3年度実施事業）
実績報告に対する意見書

協働事業名	①寒川町の花　すいせんの植栽
提案団体名	日本一のすいせんの町にする会（スイセンズ）
事業協力課	都市計画課
事業費 （補助金額）	504，413円 （500，000円）

◆寒川町協働事業選考委員意見

○提案団体に関する意見

【評価点】
・協働事業終了後のことも考えて、他委員からもご指摘があったボランティア団体「住みよい町・さむかわにする会」さんと情報共有・交換の場をもたれてはいかがでしょうか。1つの公園内でどちらの団体がどこを植栽・管理するのか、植栽箇所を決めるにあたり毎年の情報共有をどのようにするか、あるいは公園内のスイセンの植栽に関してはスイセンズさんに一任してもらうのか、など確認された方が良いかと思います。両団体が良好な関係を築きそれぞれの活動がスムーズになるよう、その相乗効果でより美しい景観が作られるよう楽しみにしています。
・この事業は4年度までですが、すいせんは毎年花を咲かせてくれます。貴会が責任をもって末永く維持管理して町民を楽しませて頂きたい。
・目標・目的を達成し、多くの方々に好評を得ている活動ができているので、引き続き積極的な活動を期待します。

【課題点】
・継続活動できるよう、資金面だけでなく広報・PR等も含め、検討をお願いいたします。
・事前に同じような活動をする団体を、調べた上で提案願いたい。
・中央公園にスイセンが咲きみだれた時は春が来たなと思います。スイセンズの方々の献身的な管理、寒い冬に手入れして実を結んだ結果だと思います。四季を通じて（夏はベゴニア、秋はコスモス）花壇を作っていただけると嬉しいです。たくさんの方（小さいお子さん）が公園内を散策しますので安全・安心管理の徹底をお願いします。
・活動内容について、公園愛護会や住みよい町・さむかわにする会と重複する部分があるように感じる。すみわけ、あるいは連携の検討を。活動が継続するにつれ、株分けによる球根の販売など、歳入確保の検討を。

○町に関する意見

・ふるさと納税を含め、資金調達の手法を多様に調査・検討して頂きたい。
・協働事業評価シートのチェック方式による実績報告書は、真の活動実態を把握するにはそぐわない。報告書のフォーマット改善が、求められる。ほとんどが、はい、いいえの回答で評価判断が難しい。
・町内に園芸店が複数あるのは寒川の特徴であり強みだと思います。いちボランティア団体が協力を依頼しに伺っても難しいかもしれませんが、「寒川町」の看板と担当職員が付いてくださる協働事業期間中はお話がしやすいと思います。活動がスムーズに継続できるよう、協働事業期間中に「住みよい町・さむかわにする会」さんや他事業者さんとのパイプ作りを担っていただければと思います。
・町の花「すいせん」は町のシンボルであり、町の象徴として位置付けていると思う。「高座のこころ」を制定したのと同様の意味を持つのではないだろうか。町の花として全町民に如何に浸透させるかを事業協力課の役割を越えて進めて頂きたい。
・補助金の使い道については十分精査して、無駄にならないよう指導と監査をお願いいたします。
・団体がやることと、町がやることの役割を明確にし、事業に協力していただきたい。
・すいせんの植栽が町の政策に寄与するのであれば、道路や学校、その他公共施設へ拡大することも検討されたらどうか。活動支援のため、クラウドファンディング型ふるさと納税の導入について検討を。

○協働事業に関する意見
・今後も頑張ってください。 ・ボランティア活動と協働事業の、公正な判断基準が必要。 ・今は中央公園内で協働事業として植栽していますが、事業終了後の場所の管理についてルールは明文化されているのでしょうか。例えばスイセンズさんが使用している場所の所有者・責任者について、町がスイセンズさんに場所貸しする形なのか、スイセンズさんに管理委託されているのか、あるいは市民農園のように一般開放でスイセンズさんが応募して場所を使用する形なのか、という点です。また災害等で植栽している土地が駄目になってしまった時はどちらがどこまで責任をもつのか(町の責任は整地までか、植え直す球根代・設備費までか)という点も、確認しておく必要があると思います。植栽後、場所が増えれば管理も増えます。継続的に人手が必要になることを考えて、学校の授業や自治体活動に球根植えやその後の管理体験を組み込むなど、今後の人手確保についても案を出し合ってみてはいかがでしょうか。 ・当日も質問がありましたが「住みよい町・さむかわにする会」でも同様な活動を行っているのなら一緒に活動するなど検討してもよいのではないか。この事業は2年間で100万円の助成をすることになるので、随時事業内容の確認も必要ではないかと思います。 ・町のボランティア活動団体がいくつもあります。各団体との意見交換の場を設けるなどして、団体の持つ特性を共有してより良いボランティア活動が出来たらよいと思います。 ・実施期間(協働事業提案制度)の2年間を超えた事業展開に注目する必要がある(他の事業も含めて)。 ・目的や目標が大きすぎてイメージしにくい。花を愛でることは良いと思いますが、すいせんの植栽が広がることで、町にどのような影響を及ぼすのか、より具体的に深堀りしていただきたい。